

アクシス 壁・スリット工法 設計施工標準

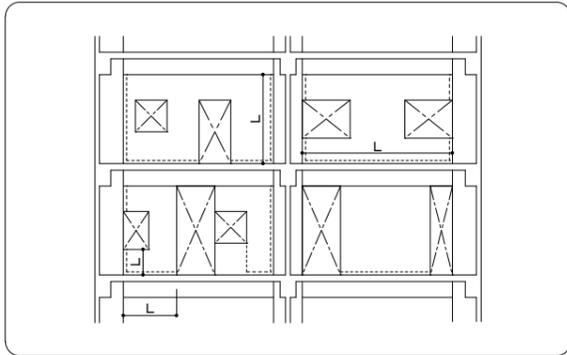
1. 適用範囲・特記事項

- ・本仕様書は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造内、耐震スリット工事に適用する。
- ・本仕様書に特記無き事項は、設計図書、設計者及び係員の指示による。
- ・高位の耐火仕様については、設計図書、設計者及び係員の指示による。
- ・スリット材の施工については、設計者及び係員の承諾を得る事。

2. 準拠する規基準

- 建築基準法・同施行令
- 2007年版建築物の構造関係技術基準解説書（日本建築センター）
- 鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説（日本建築学会）
- 建築物の遮音性能基準と設計指針（日本建築学会）
- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）
- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事（日本建築学会）
- 構造スリット設計指針（日本建築構造技術者協会）
- 構造スリット施工管理マニュアル（建設業協会）

3. 共通設計仕様

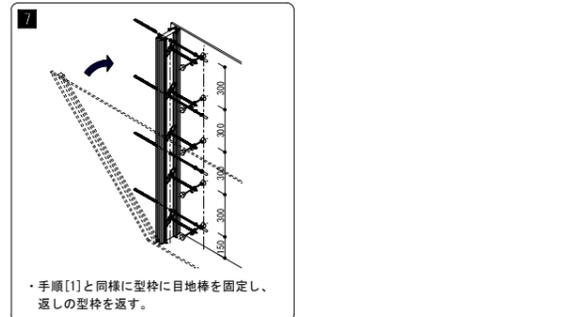
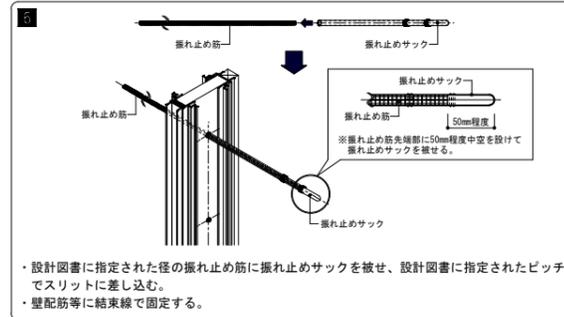
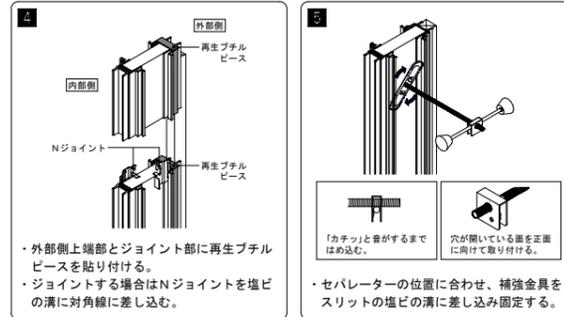
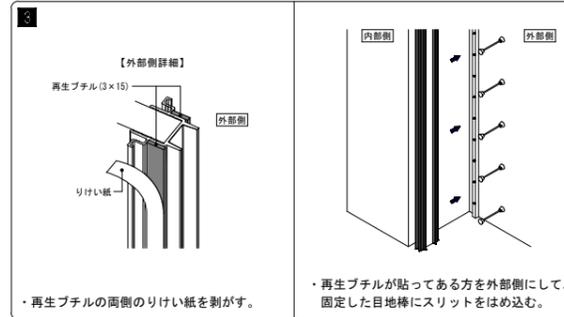
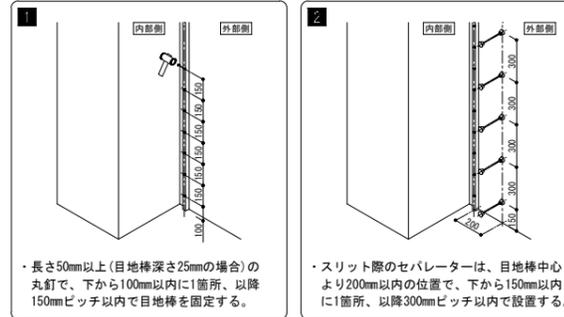


- ・破線部分等に壁スリットを用いる場合に適用する。
- ・各項目の口部分を■チェック、（ ）部分に仕様、数値を記入
- ・スリットの位置は設計図に明記（□ 伏図 □ 軸組図）
- ・厚さの決定
 - 層間変形角により決定
 - スリット必要長さ（L）の1/100
 - その他（ ）

アクシス 壁・スリット工法 施工手順

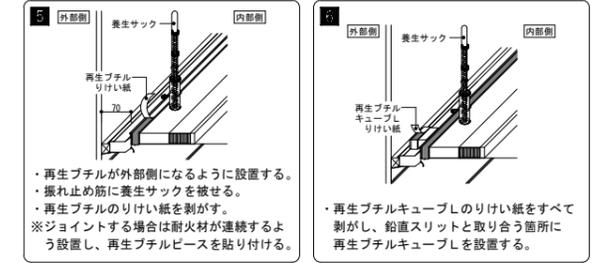
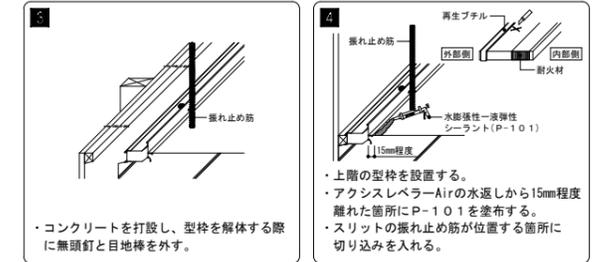
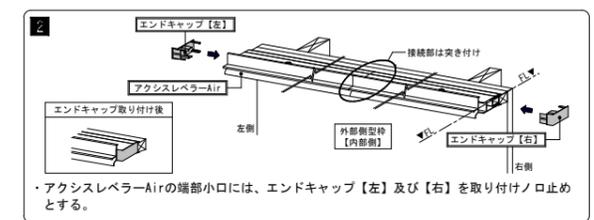
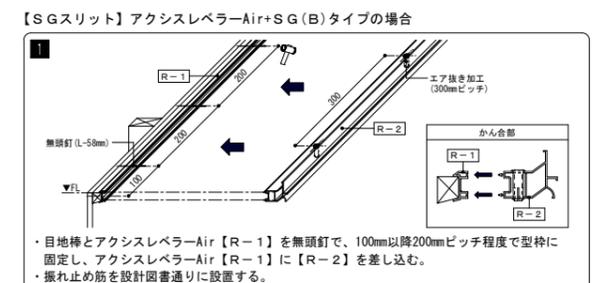
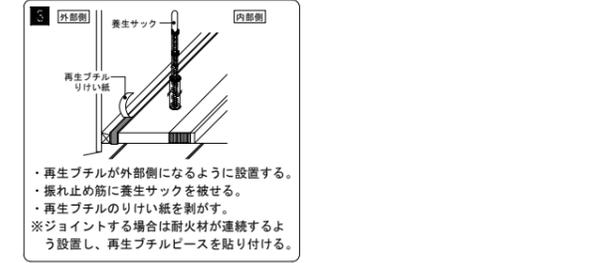
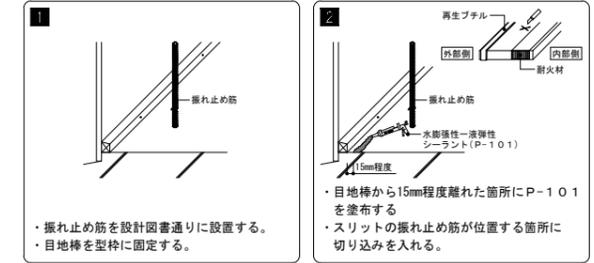
1. 鉛直完全スリット 施工手順

【Nスリット】NAタイプの場合（補強金具使用）



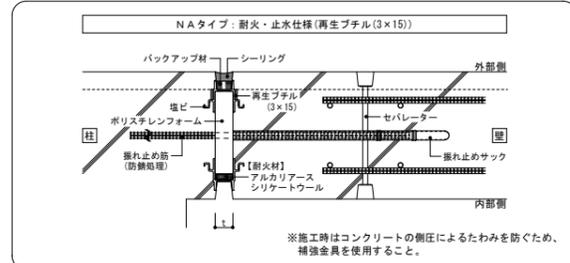
2. 水平完全スリット 施工手順

【SGスリット】SG(B)タイプの場合



4. 鉛直完全スリット

■ Nスリット

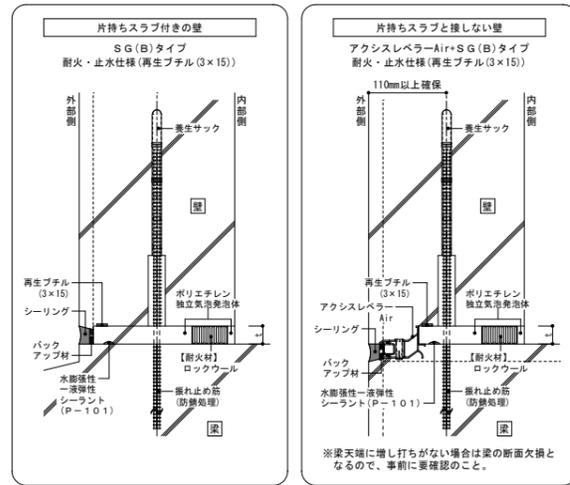


- t : □ 25 □ 30 □ 35 □ 40 □ 50
- 耐火材 : ■ 要
- 止水材 : □ 再生プチル(3×15) □ 不要
- 遮音性能 : 同一条件下で製作したコンクリート壁のスリット有無による音響透過損失測定値の差は、2dB以下であることを確認した。
- 振れ止め筋 (L-550) : □ 振れ止めサック (□ D10 □ D13) □ 異形鉄筋 (□ D10 □ D13 □ ())
- ピッチ : □ @400 □ @ ()
- その他 : □ ()
- 推奨木製目地棒 : □ Aタイプ:スリット厚より狭い寸法の目地棒 □ Bタイプ:スリット厚と同じ外部(底辺)寸法の目地棒

	スリット厚 25mm	スリット厚 30mm	スリット厚 35mm	スリット厚 40mm	スリット厚 50mm
Aタイプ					
Bタイプ					

5. 水平完全スリット

■ SGスリット



- t : □ 15 □ 20 □ 25 □ 30 □ ()
- 耐火材 : ■ 要
- 止水材 : □ 再生プチル(3×15) □ 不要
- 遮音性能 : 同一条件下で製作したコンクリート壁のスリット有無による音響透過損失測定値の差は、2dB以下であることを確認した。
- 段差打継ぎ埋め込み材 : □ アクシスレベラー □ MT □ 不要
- 振れ止め筋 (L-550) : □ 養生サック (□ D10 □ D13) □ 異形鉄筋 (□ D10 □ D13 □ ())
- ピッチ : □ @400 □ @ ()
- その他 : □ ()